



東南おきたま 雪若丸だより

雪若丸

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 置賜地域本部 置賜農業技術普及課

茎数を確保したら遅れず中干し！茎数不足なら浅水管理と水交換！

1 「雪若丸」の生育状況（6月19日現在）

葉数の進展は順調で、茎数や葉色も平年よりもやや多く（濃く）推移しています。初期生育量の確保は、高品質・良食味米の生産のための重要な要素であり、適期適作業を実施するための前提条件です。茎数不足の圃場では6月中の有効茎確保に向けて、昼間止水・夜間かんがいを徹底し、浅水管理で分けつを促進しましょう。

「雪若丸」調査ほ場の生育状況

調査圃場	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	備考
高畠町	24.9	518	8.3	50.4	5/16 移植
川西町	24.2	440	8.1	39.9	5/27 移植
米沢市	29.6	529	9.5	47.2	5/17 移植
指 標	32.0	460	8.1	43.0	

2 今後の技術対策

(1) 順調に生育量を確保している場合

- 有効茎数（560本/m²）を確保したほ場から速やかに作溝・中干しを行い、無効分けつの発生を抑制します。
- 「雪若丸」は幼穂形成期まで葉色を40未満に低下させないように管理することが大切です。水管理や中干しで適正な茎数、葉色となるように生育管理を行いましょう。

茎数と葉色の目安（指標値）

※70株/坪の場合

指標値	6月10日	6月20日	6月30日
m ² 当たり茎数（本）	240	460	590
1株当たり茎数（本）	12	22	30
葉色（SPAD）	37	43	43

(2) 生育量（茎数）不足の場合

- 水深2～3cmの浅水管理、昼間止水・夜間かんがいで分けつを促進します。
- 土壌の異常還元（ワキ）がみられる場合は、速やかに水交換や夜間落水して根圏の環境改善を図ります。
- 上記の対策を行ってもなお現在（6月20日頃）の生育量が不足している場合（茎数300本/m²以下、葉色40以下）は、減収となる可能性が高くなるため、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し生育量を確保します。
※補完施用した場合は、穂肥時の追肥量を減肥します。

農作業事故と熱中症に要注意！ こまめな休憩と水分・塩分補給。